

年間組別指導計画 平成27年度		くじら組 4,5歳児 1期・2期	男児 6 女児 17	名 名	担当 担当	上野 真美 溝部 雄介	承認	園長 副・主
年間目標	◆集団生活の中で意欲的に活動し、新しい知識や能力を獲得する。			保育目標	◆社会生活に必要な基本的生活習慣が身に付く。 ◆友達とのつながりを深めながら様々な活動を通して、自立と自信を養うとともに、集団生活の大切さを知らせる。			
期	1期(04月~06月)				2期(07月~09月)			
子どもの姿	④全身のバランスをとる能力が発達し、体の部分がかなり自分の意のままに使えるようになり、体の動きが巧みになる。 ④自我がしっかりと打ち立てられ、自分と他人との区別がはっきりしてくる。 ④目的を立てて、作ったり、描いたり、行動するようになるので、自分の思ったようにいかないのではなにか不安が生じたり、辛くなったりするなど、葛藤を体験するようになる。 ④人だけでなく、周りのものにも強い関心を向けようになる。 ④仲間とのつながりが強まるが、競争心も起き、けんかも多くなる。	食育の目標	④食べるという行為を実感するためには、自分自身が生き続けられるように、食事をつくらんと食事の場を準備することと結びつけることで、食べることは、生きる喜びにつながっていることを自覚させたい。 ④食べる行為が食材の栽培などのちを育む営みとつながっているという事実を子どもたちに体験させ、自分でつくったものを味わい、生きる喜びにつなげたい。	④自分以外の人やものをじっくりと見るようになると、逆に見られる自分に気づき、自意識が芽生えてくる。 ④他人の心や立場を気づく感受性を持つことができるようになる。 ④他人にも目に見えない心のあることを実感し、身近な人の気持ちに分かるようになり、情緒は一段と豊かになる。 ④仲間がいることの喜びや楽しさがお互いに感じられるようになる。 ④仲間の中では、不快なことにも直面しても、少しずつ自分で自分の気持ちを抑えたり、我慢もできるようになる。	食育の目標	④子どもが意欲的に新しい食べものに興味や関心をもち、食べてみようとする環境を整える。 ④食べる行為が食材の栽培などのちを育む営みとつながっているという事実を子どもたちに体験させ、自分でつくったものを味わい、生きる喜びにつなげたい。		
ねらい	【生命の保持】④一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。 【情緒の安定】④一人一人の子どもが、安定感を持って過ごせるようにする。 【共通】④身近な道具や用具を使い、十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 【人間関係】④人の話を聞いたり、十分に体を動かして遊ぶことを話ししたりして、言葉で伝える楽しさを味わう。 【環境】④身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 【言葉】④自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。	食と健康	(ねらい) □できるだけ多くの種類の食べものや料理を味わう。 (内容) □慣れない食べものや嫌いな食べものにも挑戦する。 □うがい、手洗いなど、身の回りを清潔にし、食生活に必要な活動を自分でする。	【情緒の安定】④一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 【共通】④友達とのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。 【健康】④健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 【人間関係】④身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。 【環境】④身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 【言葉】④人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 【表現】④いろいろな物の美しさなどに対する豊かな感性を持つ。	食と健康	(ねらい) □自分の体に必要な食品の種類や働きに気づき、栄養バランスを考慮した食事をしようとする。		
内容	基礎的事項	【生命の保持】④家庭と協力しながら、子どもの発達過程等に適切な生活リズムが作られていくようにする。 【情緒の安定】④一人一人の子どもが置かれている状態や発達過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら、応答的な触れ合いや言葉がけを行う。 【基礎的事項】④一人一人の子どもが気持ちや考えを理解して受容し、保育士との信頼関係の中で、自分の気持ちや考えを安心して表すことができるなど、情緒の安定した生活ができるようになる。	食と人間関係	(ねらい) □食事に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける。 (内容) □好きな食事をするために、必要なまきりに気づき、守ろうとする。	基礎的事項	【生命の保持】④食事、排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔にすることなどについて、子どもが意欲的に生活できるよう適切に援助する。 【基礎的事項】④一人一人の子どもが気持ちや考えを理解して受容し、保育士との信頼関係の中で、自分の気持ちや考えを安心して表すことができるなど、情緒の安定した生活ができるようになる。		
	健康	④様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 ④身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でする。 ④食や慣れないものや嫌いなものでも少しずつ食べようとする。 ④衣服などの着脱を順序よくしたり、そのときの気候や活動に合わせて適宜調節をする。	健康	④自分の健康に関心を持ち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。 ④道具、用具や自然物を使い、様々な動きを組み合わせて積極的に遊ぶ。	健康	④自分の健康に関心を持ち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。 ④道具、用具や自然物を使い、様々な動きを組み合わせて積極的に遊ぶ。		
	人間関係	④友達と積極的に関わりながら喜びや楽しみを共感し合う。 ④友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気づき、守ろうとする。 ④自分のしたいと思うこと、してほしいことをはっきり言うようになる。	人間関係	④友達と一緒に活動する中で、共通の目的を見だし、協力して物事をやり遂げようとする気持ちを持つ。 ④身近な友達との関わりを深めるとともに、異年齢の友達など、様々な友達と関わり、思いやりや親しみを持つ。 ④手伝ったり、人に親切にすることや、親切にされることを喜ぶ。	人間関係	④友達と一緒に活動する中で、共通の目的を見だし、協力して物事をやり遂げようとする気持ちを持つ。 ④身近な友達との関わりを深めるとともに、異年齢の友達など、様々な友達と関わり、思いやりや親しみを持つ。 ④手伝ったり、人に親切にすることや、親切にされることを喜ぶ。		
	環境	④好きな玩具や道具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。 ④生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心を持つ。 ④身近な物を大切にすること。	環境	④自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議などに気付く。 ④季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。 ④身近な動植物に親しみをもち、いたわったり、大切にしたり、作物を育てたり、味わうなどして、生命の尊さに関心する。	環境	④自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議などに気付く。 ④季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。 ④身近な動植物に親しみをもち、いたわったり、大切にしたり、作物を育てたり、味わうなどして、生命の尊さに関心する。		
	言葉	④保育士等と一緒に遊んだり、言葉のやり取りを楽しむ。 ④したこと、見たこと、聞いたこと、味わったこと、感じたこと、考えたことを自分なりに言葉で表現する。 ④保育士等と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりして遊ぶ。 ④感じたこと、考えたことを音や動きなどで表現したり、自由にいかたり、つくったりする。 ④様々なものの音、色、形、手ざわり、動きなどに気づき、驚いたり感動したりする。	食と文化	(ねらい) □いろいろな料理に出会い、発見を楽しんだり、考えたりし、様々な文化に気づく。 (内容) □食材にも旬があることを知り、季節感を感じる。	言葉	④いろいろな料理に出会い、発見を楽しんだり、考えたりし、様々な文化に気づく。 ④絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう。 ④生活の中で様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。 ④様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。 ④音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりする楽しさを味わう。 ④自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりする楽しさを味わう。	食と文化	④いろいろな料理に出会い、発見を楽しんだり、考えたりし、様々な文化に気づく。 ④食習慣、マナーを身に付ける。
環境の構成と配慮	基礎的事項	④子どもが主体的な活動を通して、満足感や充実感と共に自分への自信を高め、自己肯定感を育んでいくことができるよう援助する。 ④様々な運動用具や道具を用意して、子どもが体を動かして十分に遊ぶように環境を構成する。	いのちの育ちと食	(内容) □動植物に触れ合うことで、いのちの美しさ、不思議さに気づく。 □小動物を飼い、世話をする。	基礎的事項	④子どもが、十分に自己を発達して遊びを楽しんだり、自分の力でやり遂げる経験を重ねていくことができるように、保育士等は子ども同士の関わりを見守り、子どもの考えや気持ちを十分に認め、サポートする。 ④子どもが動植物をはじめとする様々な自然に触れ、季節感を味わうことができるよう、公園や野原など、保育所外へ出かけて活動する機会を持ち、保育士等は常に子どもの安全及び衛生に配慮する。		
	健康	健康、安全な生活に必要な基本的な習慣は、一人一人の子どもと保育士の親密な関係に基づいて、日常生活の直接的な体験の中で身につくように配慮する。 ④子どもの冒険心を大切に、新しい運動や遊びに対する不安や恐れを取り除くなどして、いきいきとした活動が展開できるように配慮する。	健康	④子どもの冒険心を大切に、新しい運動や遊びに対する不安や恐れを取り除くなどして、いきいきとした活動が展開できるように配慮する。 ④子どもの生活や経験と遊離した特定の運動や無理な技能の修得に偏らないように配慮する。	健康	④子どもの冒険心を大切に、新しい運動や遊びに対する不安や恐れを取り除くなどして、いきいきとした活動が展開できるように配慮する。 ④子どもの生活や経験と遊離した特定の運動や無理な技能の修得に偏らないように配慮する。		
	人間関係	④集団の活動に参加するときは、一人一人の子どもが、それぞれの欲求を満たすことができるよう配慮する。	人間関係	④友達とのけんかを経験しながら、次第に相手の立場の理解が進み、時には自分の主張を抑制することによって、楽しく遊べることに気づくように配慮する。その際、保育士の優しいまなざしが向けられるようにすることが大切である。	人間関係	④友達とのけんかを経験しながら、次第に相手の立場の理解が進み、時には自分の主張を抑制することによって、楽しく遊べることに気づくように配慮する。その際、保育士の優しいまなざしが向けられるようにすることが大切である。		
	環境	④動植物の飼育や栽培の手伝いを通して、それらへの興味や関心を持つようになり、その成長・変化などに感動し、愛護する気持ちを育てようとする。 ④家庭や地域の実態に即して、様々な経験ができるようになり、子どもの発見や驚きを大切に、社会や自然の事象に関心を持つように配慮する。	環境	④数、量、形などについては、直接それらを取り上げるのではなく、生活や遊びの中で子ども自身の必要に応じて、具体的に体験できるようにして数感的な感覚を育てるよう配慮する。	環境	④数、量、形などについては、直接それらを取り上げるのではなく、生活や遊びの中で子ども自身の必要に応じて、具体的に体験できるようにして数感的な感覚を育てるよう配慮する。		
	言葉	④保育士との関わりも同じで話す機会を多くし、その中で次第に関心ごと、話すことが楽しめるように配慮する。	表現	④子ども同士の模倣や認め合いを大切にしながら、表現する意欲や創造性を育てるよう配慮する。	言葉	④日常生活や絵本、童話、詩などを通して、様々な言葉のまじりや面白さなどに気づき、言葉の感覚が豊かになるように配慮する。	表現	④子ども同士の模倣や認め合いを大切にしながら、表現する意欲や創造性を育てるよう配慮する。
城と庭の連地	◆過程と園の様子を聞いたり伝えたりしながら、生活リズムを整えていく。 ◆すべて手助けするのではなく、自分でやろうとする気持ちを支えてもらうようにする。			料理と食	◆クラスだより等で子どもも楽しむ様子を伝え、子どもの成長を一緒に喜んでもらう。 ◆関わりを十分に受け止め、困った時には相談できるような信頼関係を築けるようにする。			

年間組別指導計画 平成27年度		くじら組 3期・4期	4,5歳児	男児 6名	女児 17名	担当 上野 真美 溝部 雄介	承認	園長 副・主
特記事項	なし		年間のまとめ		なし			
期	3期(10月~12月)				4期(01月~03月)			
子どもの姿	<p>⑤運動能力はますます伸び、運動を喜んで行い、なわとびなどできるようになる。</p> <p>⑥大人が「いけない」というから悪いのではなくて、自分なりに考えて納得のいく理由で物事の判断ができる基礎が培われてくる。</p> <p>⑦自分や他人を批判する力も芽生えてきて、「ずるい」とか「おかしい」など不当に思うことを言葉で表すようになる。</p> <p>⑧好きでないことも、少しは我慢して行い、他人の役に立つことがうれしく、誇らしく感じられるようになってくる。</p> <p>⑨言葉を中心として遊んだり、さらには共通のイメージを持って遊んだりすることもできる。</p>	食育の目標	<p>⑤いろいろな食べ物に親しみ、食べへの興味や関心を育てる。</p> <p>⑥子ども自身が食事をはじめ、食べる行為を本当に楽しく、待ち望むものであるよう体験を積むことが必要である。</p> <p>⑦食べ行為が食材の栽培などのちを育む営みとなつていっているという事実を子どもたちに体験させ、自分でつくったものを味わい、生きる喜びにつなげたい。</p>	<p>⑤手伝いなども、はっきりと目的を持って行うことが多くなり、しかもその結果についても考えが及ぶようになる。</p> <p>⑥同じ一つの目的に向かって数人がまとまって活動するようになり、お互いが自分のやらなくてはならないことや、きまりを守ることの必要性が分かってきて、初めて集団としての機能が発揮されるようになってくる。</p> <p>⑦自分の思いや考えをうまく表現し、他人の言うことを聞く力を身に付けるようになる。</p> <p>⑧自分と相手のとの欲求のぶつかり合いやけんかも起きても、今までのようにすぐに保育士に頼るのではなく、自分たちで解決しようとする。</p>	食育の目標	<p>⑥子ども自身が食事をはじめ、食べる行為を本当に楽しく、待ち望むものであるよう体験を積むことが必要である。</p> <p>⑦食べへの興味や関心を育てる。</p> <p>⑧食べ行為が多量にあることが望ましい。</p> <p>⑨食べ行為が食材の栽培などのちを育む営みとなつていっているという事実を子どもたちに体験させ、自分でつくったものを味わい、生きる喜びにつなげたい。</p>		
ねらい	<p>【共通】 ⑤食事をすることの意味が分かり、楽しんで食事や間食をしようとする。</p> <p>【共通】 ⑥自分でできることの範囲を広げながら、健康、安全など生活に必要な基本的習慣や態度を身に付ける。</p> <p>【健康】 ⑥自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。</p> <p>【人間関係】 ⑥身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。</p> <p>【環境】 ⑥身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。</p> <p>【言葉】 ⑥人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合ひ喜びを味わう。</p>	食と健康	<p>【健康】 ⑥健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける。</p> <p>【健康】 ⑥健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける。</p> <p>【人間関係】 ⑥社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。</p> <p>【環境】 ⑥身近な事物を見たり、考えたりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。</p> <p>【表現】 ⑥感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。</p> <p>【表現】 ⑥生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。</p>	<p>【共通】 ⑥様々な道具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しむ。</p> <p>【共通】 ⑦身近な社会や自然の環境と触れ合う中で、自分たちの生活との関係に気づき、それらを取り入れて遊ぶ。</p> <p>【健康】 ⑥健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。</p> <p>【人間関係】 ⑥社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。</p> <p>【環境】 ⑥身近な事物を見たり、考えたりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。</p> <p>【表現】 ⑥感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。</p> <p>【表現】 ⑥生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。</p>	食と健康	<p>【健康】 ⑥健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける。</p> <p>【健康】 ⑥健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける。</p> <p>【人間関係】 ⑥社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。</p> <p>【環境】 ⑥身近な事物を見たり、考えたりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。</p> <p>【表現】 ⑥感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。</p> <p>【表現】 ⑥生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。</p>		
内容	<p>基礎的事項 【情緒の安定】 ⑤一人一人の子どもの置かれている状態や発達過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら、応答的な触れ合いや言葉かけを行う。</p> <p>【情緒の安定】 ⑥保育士等との信頼関係を基盤に、一人一人の子どもの主観的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに、自分への自信を持つことができるよう成長の過程を見守り、適切に働きかける。</p> <p>健康 ⑤身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でする。</p> <p>⑥保育所における生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しを持って行動する。</p> <p>人間関係 ⑤自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。</p> <p>⑥異いことや悪いことがあることに気付か、考えながら行動する。</p> <p>⑦身近な友達との関わりを深めるとともに、異年齢の友達など、様々な友達と関わり、思いやりや親しみを持つ。</p> <p>⑧簡単なきまりをつくり出したりして、友達と一緒に遊びを発展させる。</p> <p>環境 ⑤自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議などに気付く。</p> <p>⑥季節により自然や人間の生活に変化があることに気付く。</p> <p>⑦身近な物や遊具に興味を持って関わり、考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。</p> <p>⑧日常生活の中で数量や図形などに興味を持つ。</p> <p>言葉 ⑤「したいこと、してほしいこと」を言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。</p> <p>⑥日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう。</p> <p>表現 ⑤生活の中で様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。</p> <p>⑥いろいろな素材や用具に親しみ、工夫して遊ぶ。</p> <p>⑦音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりする楽しさを味わう。</p> <p>⑧自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりする楽しさを味わう。</p> <p>⑨自分の想像したものを体の動きや言葉などで表現する。</p>	食と人間関係	<p>【内容】 ⑤同じ料理を食べたり、分け合って食事することを喜ぶ。</p> <p>⑥食生活に必要なことを、友達とともに協力して進める。</p> <p>【内容】 ⑤地域で培われた食文化を体験し、郷土への関心を持つ。</p> <p>【内容】 ⑥地域の産物を生かした料理を味わい、郷土への親しみを深める。</p> <p>⑦様々な伝統的な日本特有の食事を体験する。</p> <p>【配慮事項】 ⑧地域、郷土の食文化などに関しては、日常と非日常いわゆる「ケとハハ」のバランスに配慮する。</p>	<p>基礎的事項 【情緒の安定】 ⑤一人一人の子どもの置かれている状態や発達過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら、応答的な触れ合いや言葉かけを行う。</p> <p>【情緒の安定】 ⑥保育士等との信頼関係を基盤に、一人一人の子どもの主観的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに、自分への自信を持つことができるよう成長の過程を見守り、適切に働きかける。</p> <p>健康 ⑤身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でする。</p> <p>⑥保育所における生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しを持って行動する。</p> <p>人間関係 ⑤自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。</p> <p>⑥異いことや悪いことがあることに気付か、考えながら行動する。</p> <p>⑦身近な友達との関わりを深めるとともに、異年齢の友達など、様々な友達と関わり、思いやりや親しみを持つ。</p> <p>⑧簡単なきまりをつくり出したりして、友達と一緒に遊びを発展させる。</p> <p>環境 ⑤自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議などに気付く。</p> <p>⑥季節により自然や人間の生活に変化があることに気付く。</p> <p>⑦身近な物や遊具に興味を持って関わり、考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。</p> <p>⑧日常生活の中で数量や図形などに興味を持つ。</p> <p>言葉 ⑤「したいこと、してほしいこと」を言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。</p> <p>⑥日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう。</p> <p>表現 ⑤生活の中で様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。</p> <p>⑥いろいろな素材や用具に親しみ、工夫して遊ぶ。</p> <p>⑦音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりする楽しさを味わう。</p> <p>⑧自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりする楽しさを味わう。</p> <p>⑨自分の想像したものを体の動きや言葉などで表現する。</p>	食と人間関係	<p>【内容】 ⑤同じ料理を食べたり、分け合って食事することを喜ぶ。</p> <p>⑥食生活に必要なことを、友達とともに協力して進める。</p> <p>【内容】 ⑤地域で培われた食文化を体験し、郷土への関心を持つ。</p> <p>【内容】 ⑥地域の産物を生かした料理を味わい、郷土への親しみを深める。</p> <p>⑦様々な伝統的な日本特有の食事を体験する。</p> <p>【配慮事項】 ⑧地域、郷土の食文化などに関しては、日常と非日常いわゆる「ケとハハ」のバランスに配慮する。</p>		
環境の構成と配慮	<p>基礎的事項 ⑤子どもが、十分に自己を発揮して遊びを楽しんだり、自分の力でやり遂げる経験を重ねていくことができるように、保育士等は子ども同士の関わりを見守り、子どもの考えや気持ちを十分に認めていく。</p> <p>⑥子どもが主体的な活動を通して、満足感や充実感と共に自分への自信を高め、自己肯定感を育んでいくことができるよう援助する。</p> <p>健康 ⑥健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度が身に付き、自分の体を大切にしようとする気持ちや育ち、自主的に行動することができるように配慮する。</p> <p>人間関係 ⑥一人一人の子どもが友達と関わり、個人や社会生活に必要な習慣や態度が身につくように配慮する。</p> <p>⑦グループを作る場合は、様々な場面で自分を主張でき、相手の立場を認め、他人のよいところを見つける力が育つように配慮する。</p> <p>環境 ⑥飼育・栽培を通して、動物植物がどのようにして生きているのか、育つのか興味を持ち、生命が持つ不思議さに気づくようにする。</p> <p>⑦生活の様々な面を通して、自然や社会の事象に対して、好奇心や探索心を満たすことができるように配慮する。</p> <p>言葉 ⑥個人差を考慮して、見たこと、聞いたこと、感じたこと、考えたことを言葉で表現できる雰囲気をつくるように配慮する。</p> <p>⑦文字や記号については、日常生活や遊びの中で興味を持つよう、用具、遊具、視聴覚教材などの準備に配慮する。</p> <p>表現 ⑥表現しようとする意欲を高め、結果にとらわれず、一人一人の子どもの創意工夫を認め、創造的な喜びが味わえるように配慮する。</p>	いのちの育ちと食	<p>【健康】 ⑥健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度が身に付き、自分の体を大切にしようとする気持ちや育ち、自主的に行動することができるように配慮する。</p> <p>【人間関係】 ⑥一人一人の子どもが友達と関わり、個人や社会生活に必要な習慣や態度が身につくように配慮する。</p> <p>⑦グループを作る場合は、様々な場面で自分を主張でき、相手の立場を認め、他人のよいところを見つける力が育つように配慮する。</p> <p>【環境】 ⑥飼育・栽培を通して、動物植物がどのようにして生きているのか、育つのか興味を持ち、生命が持つ不思議さに気づくようにする。</p> <p>⑦生活の様々な面を通して、自然や社会の事象に対して、好奇心や探索心を満たすことができるように配慮する。</p> <p>【言葉】 ⑥個人差を考慮して、見たこと、聞いたこと、感じたこと、考えたことを言葉で表現できる雰囲気をつくるように配慮する。</p> <p>⑦文字や記号については、日常生活や遊びの中で興味を持つよう、用具、遊具、視聴覚教材などの準備に配慮する。</p> <p>【表現】 ⑥表現しようとする意欲を高め、結果にとらわれず、一人一人の子どもの創意工夫を認め、創造的な喜びが味わえるように配慮する。</p>	<p>基礎的事項 ⑤子どもが、十分に自己を発揮して遊びを楽しんだり、自分の力でやり遂げる経験を重ねていくことができるように、保育士等は子ども同士の関わりを見守り、子どもの考えや気持ちを十分に認めていく。</p> <p>⑥子どもが主体的な活動を通して、満足感や充実感と共に自分への自信を高め、自己肯定感を育んでいくことができるよう援助する。</p> <p>健康 ⑥健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度が身に付き、自分の体を大切にしようとする気持ちや育ち、自主的に行動することができるように配慮する。</p> <p>人間関係 ⑥一人一人の子どもが友達と関わり、個人や社会生活に必要な習慣や態度が身につくように配慮する。</p> <p>⑦グループを作る場合は、様々な場面で自分を主張でき、相手の立場を認め、他人のよいところを見つける力が育つように配慮する。</p> <p>環境 ⑥飼育・栽培を通して、動物植物がどのようにして生きているのか、育つのか興味を持ち、生命が持つ不思議さに気づくようにする。</p> <p>⑦生活の様々な面を通して、自然や社会の事象に対して、好奇心や探索心を満たすことができるように配慮する。</p> <p>言葉 ⑥個人差を考慮して、見たこと、聞いたこと、感じたこと、考えたことを言葉で表現できる雰囲気をつくるように配慮する。</p> <p>⑦文字や記号については、日常生活や遊びの中で興味を持つよう、用具、遊具、視聴覚教材などの準備に配慮する。</p> <p>表現 ⑥表現しようとする意欲を高め、結果にとらわれず、一人一人の子どもの創意工夫を認め、創造的な喜びが味わえるように配慮する。</p>	いのちの育ちと食	<p>【健康】 ⑥健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度が身に付き、自分の体を大切にしようとする気持ちや育ち、自主的に行動することができるように配慮する。</p> <p>【人間関係】 ⑥一人一人の子どもが友達と関わり、個人や社会生活に必要な習慣や態度が身につくように配慮する。</p> <p>⑦グループを作る場合は、様々な場面で自分を主張でき、相手の立場を認め、他人のよいところを見つける力が育つように配慮する。</p> <p>【環境】 ⑥飼育・栽培を通して、動物植物がどのようにして生きているのか、育つのか興味を持ち、生命が持つ不思議さに気づくようにする。</p> <p>⑦生活の様々な面を通して、自然や社会の事象に対して、好奇心や探索心を満たすことができるように配慮する。</p> <p>【言葉】 ⑥個人差を考慮して、見たこと、聞いたこと、感じたこと、考えたことを言葉で表現できる雰囲気をつくるように配慮する。</p> <p>⑦文字や記号については、日常生活や遊びの中で興味を持つよう、用具、遊具、視聴覚教材などの準備に配慮する。</p> <p>【表現】 ⑥表現しようとする意欲を高め、結果にとらわれず、一人一人の子どもの創意工夫を認め、創造的な喜びが味わえるように配慮する。</p>		
城と庭の連地	<p>・◆行事に向けての子どもの伝え、頑張った事を十分に誉めてもらい、子ども達が自信を持って活動しているようにする。</p>		<p>・◆進級や卒園に向けての生活や就学までに身につけておきたいこと、準備しておくことなどを伝えていく。</p>		<p>・◆進級や卒園に向けての生活や就学までに身につけておきたいこと、準備しておくことなどを伝えていく。</p>			

【記号】 ●:6ヶ月未満, ○:1.3歳未満, ◎:2歳未満, ☆:2歳, ④:3歳, ⑤:4歳, ⑥:5歳, ⑦:6歳, □:3歳以上, ※:全年齢共通, ■:保育所保育指針

年間組別指導計画 平成27年度		いるか 組 1期・2期	2、3歳児	男児 7 女児 6	名 担 名 当	柳下 緑	木下 祐里	深尾 太典	承認 園長 副・主	
年間目標	◆遊びのルールを覚え、友達と関わり、相手の気持ちを考えながら楽しく遊ぶ。				保育目標	◆友達との関わりを深め、ごっこ遊びや簡単な集団遊びを楽しむ。 ◆基本的な生活習慣が確立し、自分の身の回りのことは自分でできるようになる。				
期	1期(04月～06月)					2期(07月～09月)				
子どもの姿	☆自分のしたいこと、してほしいうことを言葉で表現できるようになる。 ☆大人の手を借りずに何でも意欲的に行うようになる。しかし、現実にはすべてが自分の思い通りに受け入れられるわけでもなく、また、自分でできるわけでもないで、しばしば大人や友達との間で、自分の欲求が妨げられることを経験する。 ③他の子どもとの触れ合いの中で、少しずつ友達と分け合ったり順番を守って遊んだりできるようになる。 ④ごっこ遊びが組織的になって、遊びの内容にも象徴機能や想像力を発揮した発展性が見られるようになり、遊びがかなり時間持続する。 ⑤自分のしようとするにも段々と意図と期待を持って行動できるようになる。	食育の目標	②子ども自身が「お腹がすいた」という感覚が持てる生活を送れること。 ③十分に栄養の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を適切に満たし、生命の保持及び情緒の安定を図ること。 ④子どもが意欲的に新しい食べ物に興味や関心をもたせ、食べてみようとする試みができる環境を整える。	食育の目標	☆日々の生活の中での新たな体験は、子どもの関心や探索意欲を高め、そこで得られた喜びや感動や発見を、自分と共感してくれる保育士や友達と一緒に伝えようとし、一緒に体験したいと思うようになる。 ☆周りの人の行動に興味を示し、盛んに模倣するが、さらに、物事の間の共通性を見出したり、概念化することもできるようになる。 ③他の子どもとの触れ合いの中で、少しずつ友達と分け合ったり順番を守って遊んだりできるようになる。 ④きまりを守って自分から「・・・しよう」という気持ちが現れてきて、「・・・するつもり」という思いを抱くようになる。					
ねらい	【生命の保持】 ☆一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。 【情緒の安定】 ☆一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 【内 容】 ☆身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。 【内 容】 ☆大人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 【内 容】 ☆楽しんで食事、間食をすることができるようになる。 【内 容】 ☆安心して保育士との関係の下で、食事、排泄などの簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。 【内 容】 ☆保育士を仲立ちとして、生活や遊びの中で言葉のやりとりを楽しむ。	食のねらい	(内容) ☆食生活に必要な基本的な習慣や態度に関心を持つ。 ☆保育士を仲立ちとして、友達とともに食事を進め、一緒に食べる楽しさを味わう。	食のねらい	【情緒の安定】 ☆一人一人の子どもが、安定感を持って過ごせるようにする。 【情緒の安定】 ☆一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 【内 容】 ☆身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 【内 容】 ☆日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育士等や友達と心を通わせる。 【内 容】 ☆午睡など適切に休息の機会をつくり、心身の疲れを癒して、集団生活による緊張を緩和する。 【内 容】 ☆身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友達と関わり遊ぶ楽しさを味わう。 【共通】 ③身近な環境に興味を持ち、自分から関わり、生活を上げていく。					
内容	【情緒の安定】 ☆一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。 【内 容】 ☆いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。 【内 容】 ☆様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 【内 容】 ☆安心して保育士等との関係の下で、身近な大人や友達に関心をもち、信頼して遊んだり、親しむを持って自ら関わろうとする。 【内 容】 ☆身近な物や玩具に興味を持って関わり、考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。 【内 容】 ☆保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自ら言葉を使おうとする。 【内 容】 ☆絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう。 【内 容】 ☆保育士等と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりして遊ぶ。 【内 容】 ☆生活の中で様々な出来事に触れ、イメージを豊かにする。 【内 容】 ☆感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由に言い、つくったりする。 【内 容】 ☆楽しい雰囲気の中で、自分で食事をしようとする気持ちを高め、嫌いなものでも少しずつ食べられるようにする。また、食事の後、保育士の手助けによって、うがいなどを行うようになる。 【内 容】 ☆簡単な衣服は一人で脱ぐことができるようになり、手伝わってもらいながら一人で着るようになる。 【内 容】 ☆走る、跳が、登る、押す、引っ張るなど全身を使う運動を取り入れた遊びや、つまむ、丸める、めくるなどの手や指を使う遊びを楽しむ。	食の内容	(内容) ☆食べものに関心をもち、自分で進んでスプーン、フォーク、箸などを使って食べようとする。 ☆保育士の手助けによって、うがい、手洗いや、身の回りを清潔にし、食生活に必要な活動を自分でする。 ☆保育士を仲立ちとして、友達とともに食事を進めることの喜びを味わう。	食の内容	【情緒の安定】 ☆保育士等との信頼関係を基盤に、一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに、自分への自信を持つことができるよう成長の過程を見守り、適切に働きかける。 【内 容】 ☆身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でする。 【内 容】 ☆自分でできることは自分でする。 【内 容】 ☆自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。 【内 容】 ☆共同の道具や用具を大切に扱い、みんなで作る。 【内 容】 ☆自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。 【内 容】 ☆身近な動植物に興味を持ち、いたわったり、大切にしたり、作物を育てたり、味わうなどして、生命の尊厳に気付く。 【内 容】 ☆水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れて楽しむ。 【内 容】 ☆生活の中で様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。 【内 容】 ☆絵本や紙芝居を楽しんで見たり聞いたりし、繰り返しのある言葉の模倣を楽しむ。 【内 容】 ☆保育士と一緒に歌ったり簡単な手遊びをしたり、リズムに合わせて、体を動かしたりして遊ぶ。					
環境の構成と配慮	内 容 ☆子どもの不機嫌な状態や食欲不振、急な発熱や嘔吐など、わずかな様子の異常や変化にも注意を払い、感染症の早期発見に努める。 ☆食事は、楽しい雰囲気の中で、スプーンや箸などを使い、自分で食事をしようとする気持ちを大切に、嫌いなものでも少しずつ食べられるように言葉をかける。 ☆排泄は、優しく声をかけるとともに、一人一人の排泄の閉鎖や発達過程等に応じて対応する。 ☆衣服の着脱は、丁寧にやり方を伝えながら自分でしようとする気持ちを助め、徐々に手慣れた手を手放していく。 ☆子どもの手が届く範囲の物はその安全性などを点検し、危険な物は取り除き、安全な環境を確保するとともに、歩行や遊びの障害にならないようにする。 ☆保育士等は、子どもの遊びや行動、心の動きに十分配慮し、トラブルを防いだり、状況が悪化しないよう見通しを持って対応する。 ☆子どもが安心感、安定感を得て、身近な環境に自ら働きかけ、好きな遊びに熱中したり、やりたいことを繰り返し行うことは、主体的に生きていく基盤となることに留意する。 ☆食事の前後、排泄の後などにおいては、自分で清潔にしようとする気持ちが持てるように配慮し、一人でできたときは十分にほめるようにする。 ☆外遊びや玩具で遊ぶ機会を多くし、玩具に慣れる経験を大切にしながら、子どもの自主性に応じて遊べるように工夫し、健康増進を図るよう配慮する。	食の配慮事項	(内容) ☆いろいろな食べ物に接することができるよう配慮する。 ☆食事においては個人差に応じて、食品の種類、量、大きさ、固さなどの調理形態に配慮する。 ☆友達や大人とテーブルを囲んで、食事をすすめる雰囲気づくりに配慮する。 ☆楽しい食事のすめ方を気づかせていく。	食の配慮事項	☆保育士等は、普食から、室内の気温や湿度及び換気に注意を払い、手洗いやうがい、消毒等、衛生面にも十分に注意する。 ☆排泄は、トイレの環境に配慮し、子どもがゆったりとした気持ちで自分から便器に座ったり排泄したりできるよう丁寧に見守る。 ☆子どもが自分で着やうい服や心地よい素材などにも配慮し、保護者に伝えていく。 ☆子どもの意欲や自分でやりたい気持ちを尊重しながら、さりげなく手を貸していく。 ☆友達とのトラブルやけんかの場面では、保育士等が互いの気持ちを尊重し、その気持ちを分かりやすく伝えながら、関わり方を教えたり、仲立ちをしたりしていく。 ☆食事、排泄、睡眠、衣服の着脱など生活に必要な基本的な習慣については、一人一人の子どもの発育・発達状態、健康状態に応じて、十分に落ち着いた雰囲気の中で行うことができるようにし、また、その習慣形成に当たっては、自分でしようとする気持ちを損なわないよう配慮する。 ☆活発な活動の後には、一人一人の子どもの状態によって適切な休息や水分を与えたり、汗を拭いたりして、体の状態を観察する。 ☆安全な身近な事物などへの興味や関心を広げていくに当たっては、安全や衛生面に留意しながら、それらと触れ合う機会を十分に持つようとする。また、保育士がまず親しみや愛情を持って関わるようにして、子どもが自分からしてみようという気持ちを大切に促す。 ☆子どもの話は優しく受け止め、自分から保育士に話しかけたいという気持ちを大切に、楽しんで言葉を使うことができるよう配慮する。 ☆生活や遊びの中で、子どものつぶやきやきくなどに保育士が共感しながら、表現の喜びや芽生えを育てるよう配慮する。					
家と庭の連携	◆おたより帳やお迎えの時間を利用して、園の様子を伝え安心感をもってもらう。				◆夏の病気(汗も、トビヒ、プール熱など)の症状や対応策を伝える。 ◆おたより帳を通して、常時子育てのアドバイスや情報提供を行う。					

年間組別指導計画 平成27年度		いるか 組 2、3歳児 3期・4期		男児 7 女児 6		名 担 名 当		柳下 緑 木下 祐里		深尾 太典		承認 園 長 副・主	
特記事項	・なし				年間のまとめ		・なし						
期	3期(10月~12月)						4期(01月~03月)						
子ども想される姿	<p>③「なぜ」「どうして」などの質問が盛んになり、もの名称やその機能などを理解しようとする知識欲が強まり、言葉はますます豊かになってくる。</p> <p>③簡単な話の筋も分かるようになり、話の先を予想したり、自分と同一化して考えたりできる。</p> <p>③進んで保育士の手伝いをしようとするようになり、人の役に立つことに誇りや喜びを抱くようになる。</p> <p>③自分の行動や体験を通して現実的で具体的な範囲であれば、「こうするようになる」など、あらかじめ結果について予想できるようになる。</p> <p>③全身のバランスをとる能力が発達し、体の部分がかなり自分の意のままに使えるようになり、体の動きが巧みになる。</p> <p>③自我がしっかりと打ち立てられ、自分と他人との区別がはっきりしてくる。</p>		<p>食育の目標</p> <p>③■保育所において、一日の生活リズムの基本的な流れが確立していること。</p> <p>③■いろいろな食べものに親しみ、食べものへの興味や関心を育てる。</p> <p>③■子どもは人のかかわりの中で人に対する愛情や信頼感が育つことで、食べるときも「人と一緒に食べたい」と思う子どもが増えていく。</p>		<p>③進んで保育士の手伝いを行ったりするようになり、人の役に立つことに誇りや喜びを抱くようになる。</p> <p>③自分の行動や体験を通して現実的で具体的な範囲であれば、「こうするようになる」など、あらかじめ結果について予想できるようになる。</p> <p>③各機能間の分化・統合が進み、話をしながら食べるなど、異なる2種類以上の行動を同時にとるようになる。</p> <p>③自分以外の人やものをじっくりと見るようになると、逆に見られる自分に気づき、自意識が芽生えてくる。</p> <p>③目的を立てて、作ったり、描いたり、行動するようになるので、自分の思ったようにならないのではないかと不安が生じたり、辛くなったりするなど、葛藤を体験するようになる。</p>		<p>食育の目標</p> <p>③■保育所の一日の生活リズムを子ども自身が感じ、自らそれを押しすすめる実感を体験する中で、空腹感や食欲を感じ、それを満たす心地よさのリズムを子どもにも獲得させたい。</p> <p>③■様々な体験を通して、豊かな感性を育て、創造的な発想を導くこと。</p> <p>③■子ども自身が、自分が成長しているという自覚と結びつけながら、必要な食べものを食べるといふ行為を引き出したい。</p>						
ねらい	<p>【内 容】 ☆保育士と一緒に人や動物などの模倣をしたり、経験したことを思い浮かべたりして、ごっこ遊びを楽しむ。</p> <p>【内 容】 ☆興味のあることや経験したことなどを生活や遊びの中で、保育士とも好きなように表現する。</p> <p>【人間 関係】 ③■身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。</p> <p>【言葉】 ③■人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。</p> <p>【表 現】 ③■いろいろな物の美しさなどに対する豊かな感性を持つ。</p>		<p>食のねらい</p> <p>(内容)</p> <p>☆■いろいろな種類の食べものや料理を味わう。</p> <p>☆■食生活に必要な基本的な習慣や態度に関心を持つ。</p>		<p>【共通】 ③■身近な社会事象に親しみ、模倣したりして遊ぶことを楽しむ。</p> <p>【健康】 ③■健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。</p> <p>【人間 関係】 ③■社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。</p> <p>【環境】 ③■身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。</p> <p>【言葉】 ③■日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育士等や友達と心を通わせる。</p> <p>【表 現】 ③■生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。</p>		<p>食のねらい</p> <p>(内容)</p> <p>☆■いろいろな種類の食べものや料理を味わう。</p> <p>☆■保育士を仲立ちとして、友達とともに食事を進め、一緒に食べる楽しさを味わう。</p>						
内容	<p>内 容 【内 容】 ☆いろいろな素材や用具に親しみ、工夫して遊ぶ。</p> <p>【内 容】 ☆音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりする楽しさを味わう。</p> <p>【内 容】 ☆■かいたり、つくったりすることを楽しみ、それを選びに使ったり、飾ったりする。</p> <p>【内 容】 ☆生活環境を常に清潔な状態に保つとともに、身の回りの清潔や安全の習慣が少しずつ身につくようになる。</p> <p>【内 容】 ☆自分の物、人の物の区別が気づくようになる。保育士の適切な援助によって自分の物の置き場所が分かる。</p> <p>【内 容】 ☆生活に必要な簡単な言葉を使い分け、また、様々な出来事に興味を示し、言葉で表す。</p> <p>【内 容】 ☆保育士と一緒に簡単なごっこ遊びをする中で言葉のやりとりを楽しむ。</p>		<p>食の内容</p> <p>(内容)</p> <p>☆■いろいろな食べものを進んで食べる。</p> <p>☆■身近な動植物をはじめ、自然事象をよく見たり、触れたりする。</p> <p>☆■楽しい雰囲気の中で、一緒に食べる人、調理をする人に関心を持つ。</p>		<p>基礎的事項 【生命の保持】 ③■子どもの発達過程等に応じて、適切な生活リズムが作られていくようにする。</p> <p>【情緒の安定】 ③■一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。</p>		<p>基礎的事項 【生命の保持】 ③■家庭と協力しながら、子どもの発達過程等に応じた適切な生活リズムが作られていくようにする。</p> <p>【情緒の安定】 ③■一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。</p>						
	<p>基礎的事項 【生命の保持】 ③■子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようにする。</p> <p>【情緒の安定】 ③■保育士等との信頼関係を基盤に、一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに、自分への自信を持つことができるよう成長の過程を見守り、適切に働きかける。</p>		<p>人間関係 ③■友達と一緒に活動する中で、共通の目的を見いだし、協力して物事をやり遂げようとする気持ちを持つ。</p> <p>③■友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気づき、守ろうとする。</p>		<p>健康 ③■身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でする。</p> <p>③■危険な場所や災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。</p> <p>③■保育士の手助けを受けながら、衣服を自分で着脱する。</p>		<p>健康 ③■身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でする。</p> <p>③■危険な場所や災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。</p> <p>③■保育士の手助けを受けながら、衣服を自分で着脱する。</p>						
	<p>人間関係 ③■友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気づき、守ろうとする。</p>		<p>環境 ③■日常生活の中で数量や図形などに関心を持つ。</p> <p>③■近隣の生活に興味や関心を持ち、保育所内外の行事などに喜んで参加する。</p>		<p>人間関係 ③■身近な友達との関わりを深めるとともに、異年齢の友達など、様々な友達と関わり、思いやりや親しみを育つ。</p> <p>③■道具や用具などを貸したり借りたり、順番を待たたり交代したりする。</p>		<p>人間関係 ③■身近な友達との関わりを深めるとともに、異年齢の友達など、様々な友達と関わり、思いやりや親しみを育つ。</p> <p>③■道具や用具などを貸したり借りたり、順番を待たたり交代したりする。</p>						
	<p>環境 ③■日常生活の中で数量や図形などに関心を持つ。</p> <p>③■近隣の生活に興味や関心を持ち、保育所内外の行事などに喜んで参加する。</p>		<p>表 現 ③■簡単なリズム楽器を鳴らしたりして楽しむ。</p> <p>③■絵本や童話などに親しみ、興味を持ったことを保育士と一緒に言ったり、歌ったり絵や言葉で表現して遊ぶ。</p>		<p>環境 ③■日常生活の中で数量や図形などに関心を持つ。</p> <p>③■近隣の生活に興味や関心を持ち、保育所内外の行事などに喜んで参加する。</p>		<p>環境 ③■日常生活の中で数量や図形などに関心を持つ。</p> <p>③■近隣の生活に興味や関心を持ち、保育所内外の行事などに喜んで参加する。</p>						
	<p>表 現 ③■簡単なリズム楽器を鳴らしたりして楽しむ。</p> <p>③■絵本や童話などに親しみ、興味を持ったことを保育士と一緒に言ったり、歌ったり絵や言葉で表現して遊ぶ。</p>		<p>食の配慮事項</p> <p>(内容)</p> <p>☆■食べものに興味を持ち、自主的に食べようとする姿勢を尊重する。</p> <p>☆■自然や身近な事象などへの触れ合いにおいては、安全や衛生面に留意する。</p> <p>☆■子どもが一緒に食べた人を見つけ、選ばずとする姿を受けとめ、人への関心の広がりや配慮する。</p> <p>☆■子どもが同士のいざこざも多くなるので、保育士はお互いの気持ちを受容し、他の子どもとのかかわり方を知らせていく。</p>		<p>健康 ③■身の回りのことは一応自分でできるようになるが、自分でしようとする気持ちや大切にしながら、適切な援助をするように配慮する。</p> <p>③■食事は、摂食に個人差が生じたり、偏食が出やすいので、一人一人の心身の状態を把握し、楽しい雰囲気の中でとれるように配慮する。</p>		<p>健康 ③■身の回りのことは一応自分でできるようになるが、自分でしようとする気持ちや大切にしながら、適切な援助をするように配慮する。</p> <p>③■食事は、摂食に個人差が生じたり、偏食が出やすいので、一人一人の心身の状態を把握し、楽しい雰囲気の中でとれるように配慮する。</p>						
	<p>環境 ③■身の回りの様々なものに興味を持つので、その興味、探索意欲などを十分に満足させるように環境を整え、保健、安全面に留意して意欲的に関わられるようにする。</p>		<p>人間関係 ③■子どもが一緒に食べた人を見つけ、選ばずとする姿を受けとめ、人への関心の広がりや配慮する。</p>		<p>人間関係 ③■身の回りのことは一応自分でできるようになるが、自分でしようとする気持ちや大切にしながら、適切な援助をするように配慮する。</p> <p>③■食事は、摂食に個人差が生じたり、偏食が出やすいので、一人一人の心身の状態を把握し、楽しい雰囲気の中でとれるように配慮する。</p>		<p>人間関係 ③■身の回りのことは一応自分でできるようになるが、自分でしようとする気持ちや大切にしながら、適切な援助をするように配慮する。</p> <p>③■食事は、摂食に個人差が生じたり、偏食が出やすいので、一人一人の心身の状態を把握し、楽しい雰囲気の中でとれるように配慮する。</p>						
	<p>言葉 ③■子どもが保育士に話したいことの意味をくみ取るように努め、話したいという気持ちを十分に満たすことができるように配慮する。</p> <p>③■言葉は、聞いて覚えるものであることに着目し、保育士は自らの言葉遣いに配慮する。</p>		<p>表 現 ③■身近なものに直接触れたり扱ったりして、新しいものに驚いたり不思議に思うなど感動する経験が広がるように配慮する。</p>		<p>環境 ③■身の回りの出来事や住んでいる地域の人々の生活が自分の生活と関わりがあることに気づくように配慮する。</p>		<p>環境 ③■身の回りの出来事や住んでいる地域の人々の生活が自分の生活と関わりがあることに気づくように配慮する。</p>						
	<p>表 現 ③■身近なものに直接触れたり扱ったりして、新しいものに驚いたり不思議に思うなど感動する経験が広がるように配慮する。</p>				<p>言葉 ③■子どもが保育士に話したいことの意味をくみ取るように努め、話したいという気持ちを十分に満たすことができるように配慮する。</p> <p>③■言葉は、聞いて覚えるものであることに着目し、保育士は自らの言葉遣いに配慮する。</p>		<p>言葉 ③■子どもが保育士に話したいことの意味をくみ取るように努め、話したいという気持ちを十分に満たすことができるように配慮する。</p> <p>③■言葉は、聞いて覚えるものであることに着目し、保育士は自らの言葉遣いに配慮する。</p>						
	<p>表 現 ③■身近なものに直接触れたり扱ったりして、新しいものに驚いたり不思議に思うなど感動する経験が広がるように配慮する。</p>				<p>表 現 ③■一人一人の子どもの興味や自発性を大切に、自分から表現しようとする気持ちや育つように配慮する。</p>		<p>表 現 ③■一人一人の子どもの興味や自発性を大切に、自分から表現しようとする気持ちや育つように配慮する。</p>						
城と庭の連携	<p>◆体調や気候に合わせて調節しやすい衣服を用意してもらうように伝える。</p> <p>◆行事の当日に至るまでの過程の大切さを伝え、成長発達を促す言葉がけを伝える。</p>				<p>◆成長や発達の様子を伝え喜び合い、次年度につなげていけるよう援助法等を伝えていく。</p>		<p>◆成長や発達の様子を伝え喜び合い、次年度につなげていけるよう援助法等を伝えていく。</p>						

年間組別指導計画 平成27年度		めだか組 1期・2期	0、1歳児	男児 4 女児 12	名 名	担当 担当	桑谷 里都恵 井上 桜	仲里 由美香 今井 遥	加藤 絵美	承認	園長 副・主	
年間目標	◆子どもの生理的欲求を満たしながら、安心して保育園で生活できるようになる。 ◆様々なもの(事)に興味や関心を持ち、活発に行動する。				保育目標	◆個々の生活リズムを整え、基本的な生活習慣を養う。 ◆安心できる保育者との関係の下で、自分でしようとする気持ちが芽生える。						
期	1期(04月~06月)					2期(07月~09月)						
子どもの姿	<p>●生理的な伏、不伏の表出は、感情を訴えるような泣き方をしたり、大人の顔を見つめ、笑いかけ、「アー」「ウー」などと声を出すなど次第に社会的、心理的な表出へと変化する。</p> <p>●身近な人の声を覚えたり、音のする方向に首を向けたり、近づいてくるものを見たり、ゆっくり動くものを目で追うようになる。</p> <p>○視野の中にある新しい刺激、変化に富む刺激、より複雑な刺激を次第に求める積極性や選択性は、初期から認められる。</p> <p>○身近な大人との強い信頼関係に基づき情緒の安定を基盤にして、探索活動が活発になってくる。</p> <p>○つまむ、めくる、通す、はずす、なぐりがきをする、転がす、スプーンを使う、ヨップを持つなど運動の種類が確実に豊かになっていく。</p>		<p>●十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を適切に満たし、生命の保持及び情緒の安定を図ること。</p> <p>●子どもが意欲的に新しい食べものに興味や関心をもてる、食べてみようとする試みができる環境を整える。</p> <p>●保育所の一日の生活リズムを子ども自身が感じ、自らそれを押しすすめる実感を体験する中で、空腹感や食欲を感じ、それを満たす心地よさのリズムを子どもに獲得させたい。</p>		<p>●眠っている時と、目覚めているときがはっきりと分かれ、目覚めている時には、音のする方向に向く、見つめる、追視するなどの行動が活発になる。</p> <p>○座る、はう、立つといった運動や姿勢の発達は、子どもの遊びや生活を変化させ、生活空間を大きく変え、直立歩行へと発展し、さらに、手の運動なども発達して、次第に手を用いるようになる。</p> <p>○情緒の表現、特に表情ははっきりとして、身近な人や欲しいものに興味を示し、自分から近づいていこうとするようになる。</p> <p>○大人の言うことが分かるようになり、呼びかけたり、拒否を表す片言を盛んに使うようになり、言葉で言い表せないことは、指さし、身振りなどで示そうとする。</p>		<p>●保育所において、一日の生活リズムの基本的な流れが確立していること。</p> <p>●いろいろな食べものに親しみ、食べものへの興味や関心を育てる。</p> <p>○子どもが意欲的に新しい食べものに興味や関心をもてる、食べてみようとする試みができる環境を整える。</p>					
ねらい	<p>【生命の保持】●一人一人の子どもの健康で安全に過ごせるようにする。</p> <p>【内 容】●身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。</p> <p>【生命の保持】○一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。</p> <p>【情緒の安定】○一人一人の子どもの、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。</p> <p>【内 容】○保育所生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。</p> <p>【内 容】○保健的で安全な環境をつくり、体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め、快適に生活できるようにする。</p> <p>【内 容】○聞く、見る、触るなどの経験を通して、感覚や手や指の機能を働かそうとする。</p> <p>【内 容】○自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。</p>		<p>【食育の目標】</p> <p>●お腹がすき、食事を喜んで食べ、心地よい生活を味わう。</p>		<p>【生命の保持】●一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。</p> <p>【内 容】●身近な環境に親しみ、自然に触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。</p> <p>【情緒の安定】○一人一人の子どもの、周囲から主体として受け止められ主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。</p> <p>【内 容】○身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。</p> <p>【内 容】○一人一人の子どもの生活のリズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。</p> <p>【内 容】○自分の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。</p>		<p>【生命の保持】●一人一人の子どもの健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。</p> <p>【生命の保持】●清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。</p> <p>【生命の保持】○子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようにする。</p> <p>【情緒の安定】○一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。</p> <p>【内 容】○いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。</p> <p>【内 容】○様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。</p> <p>【内 容】○健康な生活のリズムを身につけ、楽しんで食事する。</p> <p>【内 容】○安心できる保育士等との関係の下で、身近な大人や友達に関心を持ち、積極的に遊んだり、親しみを持って自ら関わろうとする。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。</p> <p>【内 容】○一人一人の子どもの生活のリズムを大切にしながら、安心して午睡などをし、適切な休息ができるようにする。</p> <p>【内 容】○保育士に見守られ、外遊び、一人遊びを十分に楽しむ。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具、自然物に自分から関わり、十分に遊ぶ。</p> <p>【内 容】○興味ある絵本を保育士と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣をしたりして遊ぶ。</p>		<p>【生命の保持】●一人一人の子どもの健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。</p> <p>【生命の保持】●清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。</p> <p>【生命の保持】○子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようにする。</p> <p>【情緒の安定】○一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。</p> <p>【内 容】○いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。</p> <p>【内 容】○様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。</p> <p>【内 容】○健康な生活のリズムを身につけ、楽しんで食事する。</p> <p>【内 容】○安心できる保育士等との関係の下で、身近な大人や友達に関心を持ち、積極的に遊んだり、親しみを持って自ら関わろうとする。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。</p> <p>【内 容】○一人一人の子どもの生活のリズムを大切にしながら、安心して午睡などをし、適切な休息ができるようにする。</p> <p>【内 容】○保育士に見守られ、外遊び、一人遊びを十分に楽しむ。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具、自然物に自分から関わり、十分に遊ぶ。</p> <p>【内 容】○興味ある絵本を保育士と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣をしたりして遊ぶ。</p>		<p>【生命の保持】●一人一人の子どもの健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。</p> <p>【生命の保持】●清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。</p> <p>【生命の保持】○子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようにする。</p> <p>【情緒の安定】○一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。</p> <p>【内 容】○いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。</p> <p>【内 容】○様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。</p> <p>【内 容】○健康な生活のリズムを身につけ、楽しんで食事する。</p> <p>【内 容】○安心できる保育士等との関係の下で、身近な大人や友達に関心を持ち、積極的に遊んだり、親しみを持って自ら関わろうとする。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。</p> <p>【内 容】○一人一人の子どもの生活のリズムを大切にしながら、安心して午睡などをし、適切な休息ができるようにする。</p> <p>【内 容】○保育士に見守られ、外遊び、一人遊びを十分に楽しむ。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具、自然物に自分から関わり、十分に遊ぶ。</p> <p>【内 容】○興味ある絵本を保育士と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣をしたりして遊ぶ。</p>	
内容	<p>【生命の保持】●一人一人の子どもの健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。</p> <p>【生命の保持】●清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。</p> <p>【生命の保持】○子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようにする。</p> <p>【情緒の安定】○一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。</p> <p>【内 容】○いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。</p> <p>【内 容】○様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。</p> <p>【内 容】○健康な生活のリズムを身につけ、楽しんで食事する。</p> <p>【内 容】○安心できる保育士等との関係の下で、身近な大人や友達に関心を持ち、積極的に遊んだり、親しみを持って自ら関わろうとする。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。</p> <p>【内 容】○一人一人の子どもの生活のリズムを大切にしながら、安心して午睡などをし、適切な休息ができるようにする。</p> <p>【内 容】○保育士に見守られ、外遊び、一人遊びを十分に楽しむ。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具、自然物に自分から関わり、十分に遊ぶ。</p> <p>【内 容】○興味ある絵本を保育士と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣をしたりして遊ぶ。</p>		<p>【食育の目標】</p> <p>●お腹がすき、食事を喜んで食べ、心地よい生活を味わう。</p>		<p>【生命の保持】●一人一人の子どもの健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。</p> <p>【生命の保持】●清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。</p> <p>【生命の保持】○子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようにする。</p> <p>【情緒の安定】○一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。</p> <p>【内 容】○いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。</p> <p>【内 容】○様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。</p> <p>【内 容】○健康な生活のリズムを身につけ、楽しんで食事する。</p> <p>【内 容】○安心できる保育士等との関係の下で、身近な大人や友達に関心を持ち、積極的に遊んだり、親しみを持って自ら関わろうとする。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。</p> <p>【内 容】○一人一人の子どもの生活のリズムを大切にしながら、安心して午睡などをし、適切な休息ができるようにする。</p> <p>【内 容】○保育士に見守られ、外遊び、一人遊びを十分に楽しむ。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具、自然物に自分から関わり、十分に遊ぶ。</p> <p>【内 容】○興味ある絵本を保育士と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣をしたりして遊ぶ。</p>		<p>【生命の保持】●一人一人の子どもの健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。</p> <p>【生命の保持】●清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。</p> <p>【生命の保持】○子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようにする。</p> <p>【情緒の安定】○一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。</p> <p>【内 容】○いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。</p> <p>【内 容】○様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。</p> <p>【内 容】○健康な生活のリズムを身につけ、楽しんで食事する。</p> <p>【内 容】○安心できる保育士等との関係の下で、身近な大人や友達に関心を持ち、積極的に遊んだり、親しみを持って自ら関わろうとする。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。</p> <p>【内 容】○一人一人の子どもの生活のリズムを大切にしながら、安心して午睡などをし、適切な休息ができるようにする。</p> <p>【内 容】○保育士に見守られ、外遊び、一人遊びを十分に楽しむ。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具、自然物に自分から関わり、十分に遊ぶ。</p> <p>【内 容】○興味ある絵本を保育士と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣をしたりして遊ぶ。</p>		<p>【生命の保持】●一人一人の子どもの健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。</p> <p>【生命の保持】●清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。</p> <p>【生命の保持】○子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようにする。</p> <p>【情緒の安定】○一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。</p> <p>【内 容】○いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。</p> <p>【内 容】○様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。</p> <p>【内 容】○健康な生活のリズムを身につけ、楽しんで食事する。</p> <p>【内 容】○安心できる保育士等との関係の下で、身近な大人や友達に関心を持ち、積極的に遊んだり、親しみを持って自ら関わろうとする。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。</p> <p>【内 容】○一人一人の子どもの生活のリズムを大切にしながら、安心して午睡などをし、適切な休息ができるようにする。</p> <p>【内 容】○保育士に見守られ、外遊び、一人遊びを十分に楽しむ。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具、自然物に自分から関わり、十分に遊ぶ。</p> <p>【内 容】○興味ある絵本を保育士と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣をしたりして遊ぶ。</p>			
環境の構成と配慮	<p>●SIDSに対して、うつ伏せ寝を避け、睡眠時にチェック表を利用して乳児の様子を把握する。</p> <p>●保育士等が、あやしたり、抱いたり、優しく揺すったりして、乳児が人に触られて心地よいと感じる関わりを持つ。</p> <p>○一人一人の発育及び発達状態をよく把握した上で、常に体の状態を細かく観察し、疾病や異常は早く発見し、発見したら、速やかに適切に対応する。</p> <p>○乳児の声をきく動きなどを介して発する欲求を察知し、タイミングよく応じる。</p> <p>●保育士等が、あやしたり、抱いたり、優しく揺すったりして、乳児が人に触られて心地よいと感じる関わりを持つ。</p> <p>○子どもが意欲や自分でやりたい気持ち尊重しながら、さりげなく手を貸していく。</p> <p>●保育士等は、子どもの気持ちを十分に受け止め、触れ合いや語りかけを多くし、情緒の安定を図る。</p> <p>○保健などで担当の保育士等が替わる場合には、子どもが不安にならないよう、関わり方が大きく変わらないように注意する。</p>		<p>【食育の目標】</p> <p>●お腹がすき、食事を喜んで食べ、心地よい生活を味わう。</p>		<p>【生命の保持】●一人一人の子どもの健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。</p> <p>【生命の保持】●清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。</p> <p>【生命の保持】○子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようにする。</p> <p>【情緒の安定】○一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。</p> <p>【内 容】○いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。</p> <p>【内 容】○様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。</p> <p>【内 容】○健康な生活のリズムを身につけ、楽しんで食事する。</p> <p>【内 容】○安心できる保育士等との関係の下で、身近な大人や友達に関心を持ち、積極的に遊んだり、親しみを持って自ら関わろうとする。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。</p> <p>【内 容】○一人一人の子どもの生活のリズムを大切にしながら、安心して午睡などをし、適切な休息ができるようにする。</p> <p>【内 容】○保育士に見守られ、外遊び、一人遊びを十分に楽しむ。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具、自然物に自分から関わり、十分に遊ぶ。</p> <p>【内 容】○興味ある絵本を保育士と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣をしたりして遊ぶ。</p>		<p>【生命の保持】●一人一人の子どもの健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。</p> <p>【生命の保持】●清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。</p> <p>【生命の保持】○子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようにする。</p> <p>【情緒の安定】○一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。</p> <p>【内 容】○いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。</p> <p>【内 容】○様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。</p> <p>【内 容】○健康な生活のリズムを身につけ、楽しんで食事する。</p> <p>【内 容】○安心できる保育士等との関係の下で、身近な大人や友達に関心を持ち、積極的に遊んだり、親しみを持って自ら関わろうとする。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。</p> <p>【内 容】○一人一人の子どもの生活のリズムを大切にしながら、安心して午睡などをし、適切な休息ができるようにする。</p> <p>【内 容】○保育士に見守られ、外遊び、一人遊びを十分に楽しむ。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具、自然物に自分から関わり、十分に遊ぶ。</p> <p>【内 容】○興味ある絵本を保育士と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣をしたりして遊ぶ。</p>		<p>【生命の保持】●一人一人の子どもの健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。</p> <p>【生命の保持】●清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。</p> <p>【生命の保持】○子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようにする。</p> <p>【情緒の安定】○一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。</p> <p>【内 容】○いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。</p> <p>【内 容】○様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。</p> <p>【内 容】○健康な生活のリズムを身につけ、楽しんで食事する。</p> <p>【内 容】○安心できる保育士等との関係の下で、身近な大人や友達に関心を持ち、積極的に遊んだり、親しみを持って自ら関わろうとする。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。</p> <p>【内 容】○一人一人の子どもの生活のリズムを大切にしながら、安心して午睡などをし、適切な休息ができるようにする。</p> <p>【内 容】○保育士に見守られ、外遊び、一人遊びを十分に楽しむ。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具、自然物に自分から関わり、十分に遊ぶ。</p> <p>【内 容】○興味ある絵本を保育士と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣をしたりして遊ぶ。</p>			
城家と庭の連地	<p>◆保護者との連携を密にして子どもの心身の状態を理解し、安心して過ごせるようにふれあいや言葉かけを行う。</p> <p>◆おたよりを通して対話で毎日の様子を伝え、保護者の不安や疑問を解消するように心掛ける。</p> <p>◆けがや事故があったら、適切に対処し、保護者には丁寧に状況を説明する。</p>		<p>【食育の目標】</p> <p>●お腹がすき、食事を喜んで食べ、心地よい生活を味わう。</p>		<p>【生命の保持】●一人一人の子どもの健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。</p> <p>【生命の保持】●清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。</p> <p>【生命の保持】○子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようにする。</p> <p>【情緒の安定】○一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。</p> <p>【内 容】○いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。</p> <p>【内 容】○様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。</p> <p>【内 容】○健康な生活のリズムを身につけ、楽しんで食事する。</p> <p>【内 容】○安心できる保育士等との関係の下で、身近な大人や友達に関心を持ち、積極的に遊んだり、親しみを持って自ら関わろうとする。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。</p> <p>【内 容】○一人一人の子どもの生活のリズムを大切にしながら、安心して午睡などをし、適切な休息ができるようにする。</p> <p>【内 容】○保育士に見守られ、外遊び、一人遊びを十分に楽しむ。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具、自然物に自分から関わり、十分に遊ぶ。</p> <p>【内 容】○興味ある絵本を保育士と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣をしたりして遊ぶ。</p>		<p>【生命の保持】●一人一人の子どもの健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。</p> <p>【生命の保持】●清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。</p> <p>【生命の保持】○子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようにする。</p> <p>【情緒の安定】○一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。</p> <p>【内 容】○いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。</p> <p>【内 容】○様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。</p> <p>【内 容】○健康な生活のリズムを身につけ、楽しんで食事する。</p> <p>【内 容】○安心できる保育士等との関係の下で、身近な大人や友達に関心を持ち、積極的に遊んだり、親しみを持って自ら関わろうとする。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。</p> <p>【内 容】○一人一人の子どもの生活のリズムを大切にしながら、安心して午睡などをし、適切な休息ができるようにする。</p> <p>【内 容】○保育士に見守られ、外遊び、一人遊びを十分に楽しむ。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具、自然物に自分から関わり、十分に遊ぶ。</p> <p>【内 容】○興味ある絵本を保育士と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣をしたりして遊ぶ。</p>		<p>【生命の保持】●一人一人の子どもの健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。</p> <p>【生命の保持】●清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。</p> <p>【生命の保持】○子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようにする。</p> <p>【情緒の安定】○一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。</p> <p>【内 容】○いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。</p> <p>【内 容】○様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。</p> <p>【内 容】○健康な生活のリズムを身につけ、楽しんで食事する。</p> <p>【内 容】○安心できる保育士等との関係の下で、身近な大人や友達に関心を持ち、積極的に遊んだり、親しみを持って自ら関わろうとする。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。</p> <p>【内 容】○一人一人の子どもの生活のリズムを大切にしながら、安心して午睡などをし、適切な休息ができるようにする。</p> <p>【内 容】○保育士に見守られ、外遊び、一人遊びを十分に楽しむ。</p> <p>【内 容】○好きな玩具や遊具、自然物に自分から関わり、十分に遊ぶ。</p> <p>【内 容】○興味ある絵本を保育士と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣をしたりして遊ぶ。</p>			

【記号】 ●:6ヶ月未満, ○:1.3歳未満, ◎:2歳未満, ☆:2歳, ③:3歳, ④:4歳, ⑤:5歳, ⑥:6歳, □:3歳以上, ※:全年齢共通, ■:保育所保育指針

年間組別指導計画 平成27年度		めだか組 3期・4期		0、1歳児 男児 4名 女児 12名		担当 桑谷 里都恵 井上 桜		仲里 由美香 今井 遥		加藤 絵美		承認 園長 副・主	
特記事項 ・なし				年間のまとめ								・なし	
期 3期(10月~12月)		4期(01月~03月)											
子ども想される姿		食育の目標		◎■自然や社会の事象についての興味や関心を育て、それに対する豊かな心情や思考力の基礎を培うこと。 ◎■子どもは人とかかわりの中で人に対する愛情や信頼感が育つことで、食べるときも「人と一緒に食べたい」と思う子どもが増えていく。 ◎■子どもは人とかかわりの中で人に対する愛情や信頼感が育つことで、食べるときも「人と一緒に食べたい」と思う子どもが増えていく。		◎■子どもが意欲的に新しい食べ物に興味や関心をもち、食べてみようとする環境を整える。 ◎■子ども自身が、自分が成長しているという自覚と結びつけながら、必要な食べものを食べという行為を引き出したい。 ◎■子どもは人とかかわりの中で人に対する愛情や信頼感が育つことで、食べるときも「人と一緒に食べたい」と思う子どもが増えていく。							
ねらい		食のねらい		◎■一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようになる。 【内容】◎■自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 【内容】◎■身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 【内容】◎■自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを知る。 【内容】◎■日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育士等や友達と心を通わせる。 【内容】◎■身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友達と関わって遊ぶ楽しさを知る。 【内容】◎■保育士と一緒に人や動物などの模倣をしたり、経験したことを思い浮かべたりして、ごっこ遊びを楽しむ。		◎■一人一人の子どもが、周囲から主体として受け止められ主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようになる。 【内容】◎■健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 【内容】◎■保育士と一緒に全身や手指を使う遊びを楽しむ。 【内容】◎■身の回りのものや親しみの持てる小動物や植物を見たり、触れたり、保育士から話を聞いたりして興味や関心を広げる。 【内容】◎■興味のあることや経験したことなどを生活や遊びの中で、保育士とともに好きなように表現する。							
内容		食の内容		◎■食事の前後や汚れたときは、顔や手を拭き、きれいになった快さを感じる。 ◎■楽しい雰囲気の中で、一緒に食べる人に関心を持つ。		◎■保育士等や友達との安定した関係の中で、共に過ごすことの喜びを味わう。 【内容】◎■保育士等や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみをもちて聞いたり、話したりする。 【内容】◎■かいたり、つくったりすることを楽しみ、それを遊びに使ったり、飾ったりする。 【内容】◎■保育士の仲立ちによって、共同の道具などを使って遊ぶ。 【内容】◎■保育士と一緒に簡単なごっこ遊びをする中で言葉のやりとりを楽しむ。 【内容】◎■保育士と一緒に歌った簡単な手遊びをしたり、リズムに合わせて、体を動かしたりして遊ぶ。							
環境の構成と配慮		食の配慮事項		◎■子どもが一緒に食べたい人を見つけ、選ばうとする姿を受けとめ、人への関心の広がりに対応する。		◎■子どもの手が届く範囲の物はその安全性などを点検し、危険な物は取り除き、安全な環境を確保するとともに、形や遊びの障害にならないようにする。 ◎■子どもが安心感、安定感を得て、身近な環境に自ら働きかけ、好きな遊びに熱中したり、やりたいことを繰り返し行うことは、主体的に生きていく基礎となることに留意する。 ◎■感染症にかかることが多いので、発熱など体の状態、機嫌、食欲、元気さなどの日常の状態を観察を十分に絵本を見ながら、絵本の内容を動作や言葉で表したり、歌を歌ったりなどして、模倣活動を楽しめるようにする。 ◎■自然や身近な事象などへの興味や関心を広げていくに当たっては、安全や衛生面に留意しながら、それらと触れ合う機会を十分に持つようにする。また、保育士がまず親しみや愛情を持って関わるようにして、子どもが自分からしてみようという気持ちを大切にすること。 ◎■生活や遊びの中で、子どものつがやきやきなどに保育士が共感しながら、表現の喜びや芽生えを育てるよう配慮する。 ◎■歌うことや、音楽に合わせて体を動かすことを好むので、子どもの好む歌、簡単な歌詞、旋律の歌や曲を正しく、美しく表現するよう配慮する。							
域家と庭の連地				◎■自分でやりたいという意欲が高まるので、満足感が得られるよう援助を心掛ける。 ◎■動きが活発になるので、事故やケガに十分に注意してもらおう。 ◎■言葉が豊かになってくるので、ゆっくりとした語り掛けや絵本の読み聞かせなど、言葉環境が豊かになるように保護者とも連携していく。		◎■保護者との信頼関係の下で、子どもの成長を共に喜び合う。 ◎■進級に向けて、不安や疑問を聞き出し、解消しておく。							

【記号】 ●:6ヶ月未満, ○:1.3歳未満, ◎:2歳未満, ☆:2歳, ③:3歳, ④:4歳, ⑤:5歳, ⑥:6歳, □:3歳以上, ※:全年齢共通, ■:保育所保育指針